

2021年8月の格言

令和3年8月の格言は

私は昨年(2020年)の11月9日の発表会の案内状(令和1年8月末作成)の冒頭に、『地響きが聞こえだした不況への対策』と書いて、お客様に送らせて頂いた。

尚、その経営計画書表紙の裏には、7年間無借金(ゼロ借金)の会社だったが、お金を借りて次の行動に出ると書いた□(Cash is King)

現金を持った人が王様になる時代が来ると話した。

借入額は月商の3倍を目安にし、(企業を伸ばすには、人モノ・金である)

(勝負をかける時は月商の6倍も)我が社はどんなことがあろうとも、先を見つめ、計画を推進していく以外には発展は無いと思っている。

借入は社員にも私募債という形で行い、銀行の約10倍の利息で私募債を発行した。

国内では銀行、証券会社他が大幅な打撃を受け、人員整理、新卒社員の採用大幅減が起こり、学卒の売り手市場が終焉を迎え、やがて冬の時代に突入していく。

そこで当社は学生及び若い人の獲得を行いたい。と記した。

(航空会社、ホテル関連、花屋まで広がった)

そして2014年(平成26年)4月1期経営計画書に

ヨーロッパに異変が生じ、諸国がそれに巻き込まれ、影響はロシアや中国がダメになり、韓国が立ち行かないと書いた。

まさにその通りになった。

米大統領トランプさんは米中戦争を仕掛け、中国が不況になると書き記した。

2013年に(約8年前)成長へのシナリオに書いた通り、

2020年で大きな変化が起こると予測した通り、令和2年に戦後最大の不況に突入してきている。それがコロナ禍である。

栃木アンカー工業株式会社「経営計画書」より